

## 第5回 港区生物多様性推進委員会 議事要旨

日 時 平成26年3月12日(水)

18:30～20:30

場 所 港区役所9階 911会議室

出席者 一ノ瀬 友博 委員長  
川廷 昌弘 委員  
草刈 秀紀 委員  
芳賀 勲 委員  
土方 直美 委員  
平川 幸子 委員  
本田 裕子 委員  
榊中 多賀子 委員  
峰崎 善次 委員  
村上 暁信 委員  
矢野 亮 委員  
山田 順之 委員

港区 環境リサイクル支援部長

環境課長

環境課緑化推進担当 3名

欠席者 中村 俊彦 副委員長  
河野 博 委員  
三井 知之 委員

## 開 会

### 1. 環境課長挨拶

ー環境課長より、委員会開催について挨拶、配付資料の確認を行った。

### 2. 議事要旨・発言要旨

#### 委員長

地域戦略本編（資料2）について、素案に対するご意見（資料1）、及び本日欠席の副委員長から事前にメールでいただいた意見（参考資料2）などを元に、議論を進めていきたい。

#### （1）港区生物多様性地域戦略—生物多様性みなとプラン—（案）について

##### 1）これまでの策定経過について

ー事務局より、資料1について説明し、質疑応答を行った。

意見なし

#### 2）港区生物多様性地域戦略—生物多様性みなとプラン—（案）について

##### ア 第1章、第2章について

ー事務局より、本編の1章と2章（資料2）及びそれに対応する副委員長からの意見（参考資料2）について説明し、質疑応答を行った。

#### 委員長

1章と2章は、時間をかけて議論したい部分である。3ページの「3 生物多様性とは」の文章について、誤解を与えるのではないかという意見がある。国家戦略では3ページ以上割いて説明しているものを、ここではわかりやすく圧縮した内容にしたため、こうなったと理解している。環境省のホームページを見ると、若干変な部分があるものの短くまとめられており、国の公式見解でもあるので、これをベースに検討していくのが良いと思う。

#### 委員

生物多様性条約では種の多様性は「いろいろな種類がたくさんいる」のではなく、「変異性」の重要性を挙げている。変異性の意味がうまくわかるような文章にするべきである。変異

性という単語が分からないのであれば、国際条約なので、原文に立ち戻って解釈を考えた上で、適切な言葉を使うのが良い。変異性の原文は、Variability であり、IUCN 日本委員会では、変化する力を持っているという意味としている、条約を批准した時の日本語訳にした時におかしくなっている。

#### 委員

Variability について、普及啓発の事業などいろいろなところでは、“変わる力”や“変化に耐える力”など、わかりやすい表現を用いて説明している。

#### 事務局

わかりやすい表現に努めたために、間違いが生じた部分があるかもしれない。書かないといけないものがあれば、区民にわかりやすい表現で入れていきたいのでご教示頂きたい。

#### 委員

区民として読んだときに、わかりやすいと思った。書き方次第では区民が理解できないのではないか。種数について、資料によって 3000 万種以上、500 万種以上などまちまちで、混乱する。区民は、今のようなシンプルなものを望んでいる。

#### 委員長

種数の集計については、環境省も「3000 万種ともいわれる」とやや曖昧に表現している。確かに疑問と思われる部分があるが、ここでは国に合わせている。それから、「変異性」は確かに難しいが、重要なことなので、「変わる力」のような言葉にして加えると良いと思う。

#### 委員

どこかに、変異に相当する言葉を入れるということであれば、2 段落目の「それらが相互に影響しあっています」のあとに「生物多様性は、恒常的なものでなく常に変わっているものです」のような文章を入れたらどうか。

#### 委員

私は、子どもに説明するときに、食う食われるの関係の中で 1 個がなくなったときに、他で補えるような仕組みとして説明している。「変化に耐える自然の仕組み」といったような表現は良いと思う。

#### 委員長

「生物多様性があるからこそ、変化に耐えられる」といった説明を入れるのがよいのかもしれない。それから、参考資料 2 の意見 3 にある言葉については、全体に関わることなのでここで取り上げる。「関わり」と「かかわり」については、使い分ければ良い。「文化的サービ

ス」を「文化サービス」に変えた方がいいという意見については、あえてこの段階で変えなくていいのではないか。ここでは国に従うものとし、今後、議論を深めていけばいい。

#### 全委員

了承。

#### 委員

アンケートについて、50 ページ下の概要にある「区民では6割を下回っており、低いといえます」について、「低いといえます」は、外した方が良くと思う。また、51 ページについて、言葉の認知度が6割を下回っているのに、守ることの重要性が8割を上回っているのはおかしい。アンケートの信憑性に関わる問題である。また、57 ページの児童・生徒の意見のなかの区分で、「台場」については「お台場海浜公園」と書くべきなのではないか。

#### 委員

(51 ページについて) 確かにぱっと見るとおかしい。2)に説明を入れたらどうか。資料1の3 ページにある「アンケートに、生物多様性の説明文を同封したことを明記すべき」との指摘事項に対する「アンケートの趣旨が誤解されるおそれがあるため、見送らせて頂きました。」の回答の意味が解らない。

#### 委員

同封した説明文を全部紹介するのが良いと思う。また、質問のどの段階で説明したかを示すべきである。また、「区民」とざっくり言うてしまうことに違和感がある。どういう条件で集めた人なのかを明記するべきである。

#### 委員長

確かに、区民というより正確には回答者かもしれない。ただ、シンプルにわかるようにするのが良いと思う。記述等も加えた方がいい。

#### 事務局

何らかの形の説明を入れる。対象者は明記する。「台場」については確認する。

#### 委員

33 ページの「ペットとして飼われていたアカミミガメやキンギョ・・・などの外来種が移入され・・・」の前に、「オニヤンマのヤゴやサワガニが見つまっている」とあり、よい自然環境の指標になる。しかし上流部の立ち入り禁止場所から下はアメリカザリガニが出現し、トンボ類が減少している。港区の生物調査によるとトンボ類は種数が減少し、アメリカザリガニの生息確認場所が増大している。在来種であるトンボ類は減少し、アカミミガメ等の外来種は

移入され増加しているという記述を入れて欲しい。

#### 事務局

増えているかまでは、把握できていない。確実な経年データがない。

#### 委員

外来種ではウシガエルも怖い。ブラックバスやブルーギルも駆除が大変である。これらについて普及啓発して頂きたい。

#### 委員長

ペットという言葉がついているため、これらの種に限定して書いてしまっているが、ウシガエルなど入れておくとよいのではないか。

#### 事務局

修正する。

#### 委員

外来生物については、「特定外来生物」として指定されるものは、そもそも侵略性があるから特定外来生物として指定されているものであり、現段階で被害があるかどうかではない。

#### 委員長

そうした基準にしたがって記述するのがいいのではないか。

#### 委員

2章までと3章のつながりに、若干ギャップがある印象がある。2章の最後に港区の特徴を書くことで3章につながる。目標をあげるにあたって、ここに港区の特徴があった方がいい。

#### 委員

概要版を作るという話があったが、一般にこのような戦略をわかりやすくまとめるためには時間のない方でも流れがつかめるようなエクゼクティブサマリー（要旨）が掲載される。

港区の戦略も概要や要旨が冒頭にあれば、委員の指摘にも対応できるのではなかろうか。

#### 委員

これですっきりしていると思っている。詳しくすると逆にわかりにくくなるのではないか。

#### 委員

文章を数行レベル入れる話なので良いかと思うが、くどいと言うのであれば、それほど強く主張するものではない。

#### 委員長

数行でサマリーする形でよろしいのではないか。

## 事務局

港区の特殊性については 2 ページで説明しているのですが、繰り返しを避けている。しかし、74 ページの上に、総括を数行入れた方が、まとめとしても良いと思うので、そうしたい。

## 委員

資料 1 の 1 ページ目の下から 8 行目、生物多様性の経済的価値評価についてどこかに加えたい。事業者や企業など、経団連などでも生物多様性の経済的価値評価については、普通に語られているものなので、14 ページあたりにコラムで入れられないか。委員に入っている事業者さんの意見を聞くと良いかと思う。事務局が言われる一般の人々は、昼間人口 100 万人、そのほとんどが事業者であり、その点からも生物多様性の経済的価値については、認識を少なくともレベルをアップしておくべき。

## 事務局

現段階において、コラムとして経済的価値を取り入れるのは難しい。

## 委員長

経済的な評価、例えば金銭に換算したらいくらになるかとかといったことは、エコロジカルフットプリントよりもベーシックなことなので、入っていないことに違和感がある。

## 委員

例えば、熊本の地下水の価値がどれくらいあるかなど、すでに事例はいくつかあるのでそれを書くだけでも十分ではないか。

## 事務局

検討する。

## イ 第 3 章、第 4 章、第 5 章について

事務局より、本編の 3 章から 5 章（資料 2）及びそれに対応する副委員長からの意見（参考資料 2）について説明を行い、質疑応答を行った。

## 委員長

まず、参考資料 2 のサプライチェーンについてのご意見はどうか。

## 委員

先程の経済的効果とサプライチェーンの説明がつながれば良いのではないかと。課題 B の目標 2 と、課題 D の目標 4 にそれが入る。78 ページに経済的価値評価をしていくという 1 文を

いれれば印象が変わるのではないか。企業としての責任という意味で入れていく。次に、80 ページはボランティア活動などの表記にとどまっているが、ここにも経済的価値評価の用語を入れると良い。また、98 ページにも経済的価値評価の用語を入れると印象が変わる。さらに、116 ページの行動メニューの中にもこうした用語を入れていくことにより、参考資料2の意見についても、また今の議論についてもクリアーできるのではないか。答えはでなくても視点を加えることが大切である。

#### **事務局**

前向きに検討する。すべてに入れるのは難しいかもしれない。

#### **委員**

非常によくまとまっていると思うが、港区の特徴について、網羅はされているが、浮いてこない。それから、行動計画の取組を全部やるのは大変なので、ある程度、特徴をピックアップして重点をおいてやるといいのではないか。

#### **委員**

私もメリハリの無さを感じる。例えば、28 ページ自然教育園のカワセミの写真について、写真を大きくするなどして特徴的にメリハリを出せば、子どもの関心も得られ、例えば、カワセミのくちばしと新幹線といったバイオミミクリーなどの説明もできる。

#### **事務局**

編集のバランスでこうなっているが、メリハリについてはこれから作るパンフレット等で実践したい。

#### **委員長**

今後のアピールの段階でやっていけば良いと思う。

#### **委員**

118 ページの地域を超えた交流で、区や周辺部、国レベルにとどまっているのが惜しい。過去の委員会で資源利用など海外とのつながりを認識することも重要との指摘があった。英語版も作るのであれば、まずは海外に向けた情報発信や収集も検討します、といったことも入れていくと、次のステップにつながるのではないか。予算の関係もあり厳しいかもしれないが、海外とのつながりは港区らしさでもある。

#### **事務局**

まずは足元にある大使館から実践していきたいと考えている。取組を実行する中で、そうしたことも発信していきたい。

## 委員長

英文冊子の作成は本編を想定しているのか。

## 事務局

概要版のみで、本編は考えていない。

## 委員長

日本の地域戦略を英語で発信していくことは、あまり事例がないので、とくにアジアに発信されることはすごく重要である。概要版だけだとしてもすばらしいことである。港区は、大使館、企業が多いという特殊な場所であることから、次のステップでは、それにつなげ、発信していくことが大切なことである。

## 委員

英文概要版には、細かい内容までは入るのか。外国企業や大使館など、役割負担があるものは、行動計画の詳細を載せた方が良いと思う。

## 事務局

88～89 ページの内容は、概要版にも入れたいと思っている。

## 委員

2020年の東京オリンピックもポイントにあげたらいいのではないかな。

## 事務局

オリンピックに向けた取り組みは全庁的に行っていることなので、やっていきたい。

## 委員

索引の中の外来種のページ欄で「37」も太字にした方が良いのではないかな。

## 事務局

全体的に精査する。

## 委員

78～79 ページのイラストがとてもよい。アマモの保全活動も生物学上重要なことである。子どもの視点から見てもとても良い。

## 委員

115 ページが具体的にイメージできない。また、事業予定の欄で、新規事業であるにもかかわらず検討の期間がなく、いきなり実施となっている。せっかくのアイデアなので、慎重に検討する時間を設け、もう少し具体的に書いた方がよい。



## 事務局

ここが一番固まっていない部分である。まずは情報を集め、まちの自慢になりそうなものを検討し、他のものと並行して考えていきたい。

## 委員

3 ページの「生物多様性とは」について。まず、3つのレベルの多様性の文章については、「生物多様性条約では、生態系の多様性・種の多様性・遺伝子の多様性という3つのレベルで多様性があるとしている」にする。また、下から4行目の文章は、「生物多様性は、これらが相互に影響し合い、変化に耐える自然の仕組みですが、一度大きく損傷すると復元することは困難です。」にすると収まりが良いと思う。

## 委員

コラムと本文との書きぶりについて、参照頁が本文に記載されておらずコラムと本文がリンクしていないところはいくつかある。

## 事務局

確認する。

## 委員

この後の進め方について教えて頂きたい。概要版はすごく大事である。あとは事務局で概要版をつくりますではなくて、是非、委員にも確認させて欲しい。

## 事務局

概要版は本編を要約したものである。それとは別に大人向けと子ども向けのパンフレットがあるが、これは来年度原稿を作ることになる。ご意見をいただければありがたい。委員会としては年度末で閉じるので、その後に追加でアドバイスを頂く形になる。

## 委員長

委員としての活動が終わったあとの作業になるが、是非、ご意見があれば頂きたい。

本日の委員会は以上としたい。

最後にご挨拶させて頂くが、私にとって委員長としての立場で地域戦略関係に関わらせて頂いたのは初めてであり、副委員長がいらしてこそやってこられたと思う。他の地域戦略にも関わっているが、港区は強力な布陣で取り組んでこられたのではないかと。また、港区ならではの特徴がかなり盛り込めたのではと思う。しかしながら、これはあくまでスタートである。委員会は一旦閉じるが、引き続き委員の方にはご協力を願いたいと思っている。ありがとうございました。

## 事務局

これから戦略を推進するためにはみなさんの力が必要である。オリンピックも視野に入れ、また大使館も多いことから、外国人向けについても考えて、取り組んでいきたい。

## 閉 会

### 事務局

委員の方には、今週金曜日までに訂正事項等あれば頂きたい。

ー環境課長より、閉会の挨拶を行った。

以上